

いずみニュースレター

発行元：社会福祉法人いずみ 東京都東村山市富士見町3-4-16

TEL:042-394-1868 平成29年5月発行 第7号

意思決定支援と合理的配慮とコミュニケーション

あゆみの家担当COO 社会福祉法人いずみ 理事 江崎明子

平成28年4月1日障害者差別解消法施行、各福祉事業者には『合理的配慮』の実施の努力義務が課せられました。意思決定支援はその重要な内容です。よってコミュニケーションの支援もこの合理的配慮に含まれることを理解し、取り組むことが支援者の責務であるということです。1人1人にとってどんな合理的配慮が必要かを考えていかなければいけません。特性（それぞれの強みや能力、好きなもの等）を知ることが大前提かと思います。特性の理解と合理的配慮が意思決定支援のベースになると思います。

目の前にいる方たちが、意思決定できる？できない？コミュニケーションとれる？とれない？ここで参考になる考え方をお伝えします。イギリス2005年意思決定能力法の5大原則の中に

●能力を欠くと確定されない限り、人は能力を有すると推定されなければならない。

支援者は安易に能力が無いと決めつけてはならない。

●本人の意思決定を助けるあらゆる実行可能な方法が功を奏さなかったのであれば、人は意思決定ができないとみなされてはならない。本人が自分自身で決定できるよう可能な限りのあらゆる支援を行うことが重要、あらゆる可能性を追求したという証拠が必要だということ。

●人は単に賢明でない判断をするという理由

のみによって意思決定できないとみなされてはならない。客観的には不合理と見える意思決定を行った場合においても、そのことをもって、意思決定できないとみなされてはならない。

●意思決定能力がないと評価された本人に代わって行為をなし、あるいは意思決定するにあたっては、本人のベストインタレスト（最善の利益）にかなうよう行わなければならない。

●代行による意思決定支援は必要最小限の介入を原則として、本人にとっては自由の制限が最も少ない環境を考慮に支援する。とあります。

コミュニケーションとは双方向で作り上げていくものです。何か声を出している？顔つきが少し違う？緊張している？等々、それぞれの発信一つ一つに応えていく、その積み重ねが大切です。本人のベストインタレストに貢献できるよう、支援の実力を発揮するべく、共に頑張りましょう。



卒園式の様子

あゆみの家幼児部

3月25日あゆみの家幼児部では、卒園修了式が行われました。この日3名の卒園児が卒業証書を受け取り、幼児部を巣立っていきました。

卒園児は名前を呼ばれると前へ出て座り、卒園証書とメダルを笑顔で受け取りました。卒園証書には、入園時から今までの写真が貼ってあり、

写真を眺めてとても嬉しそうな様子。いつもと違う幼児部のフロアにエプロン姿ではない黒ずくめの職員達。自分たちもいつもと違う服装で登園し、卒園児として一つお兄さんになる場であることを、自分なりにしっかり受け止めて頑張る姿はとても立派でした。

卒園式の間、進級児たちは、プレゼントを渡したり、花のアーチを作ったりして、頑張ってお兄さんたちを見送り、素敵に式を盛り上げてくれました。そして、卒園式の後には修了式が行

われました。今年度1年がんばったご褒美のメダルを受け取り、誇らしげにしていました。

(担当 幼児部 渡邊 彩子)



4月4日に椎野智貴さんの入所式

あゆみの家成人部

今年度よりあゆみの家に新しい仲間椎野智貴さん加わりました。小平特別支援学校からの卒業生で、先輩達からの歓迎の言葉を受けて元気に返事をしてくれました。

その後のボッチャ大会では、椎野さんのチームは、小平特別支援学校の大先輩による最後の投球で、逆転負けになってしまいました。最後まで面白い展開で、皆さんと一緒に笑顔で楽しみました。



～椎野さんよりご挨拶～

この春、小平特別支援学校を卒業し、4月から毎週火曜日にお世話になっています。

在校中の実習の時から、こちらの活動を楽しんでいました。今はスタッフの皆様や、先輩方のことも覚えてきて、より一層楽しみに通っています。ワイワイにぎやかな活動が大好きです。皆様、今後とも色々と教えて下さい。どうぞよろしくお願いします。

(担当 成人部 廣瀬 富)



平成 28 年度 修了式

ひまわり



(小山PTのバルーンアート)



(修了式後の集合写真)

3月20日(月)ひまわりの修了式が行われました。修了式の前に、小山PTにバルーンアートで、アンパンマンやお花のブレスレット等を作ってもらいました。皆、普段見る機会がないので、釘付けになって見ていました。

修了式では、一人一人に、「一年間頑張りました」のメダルと修了証書が渡されました。皆、出来る事が増え、また一つ大きくなった一年となりました。

(担当 ひまわり 望月 亜津子)

つばさ 入所式の様子

ライフサポートつばさ

今年度ライフサポートつばさへ今井翔太さんが新たな仲間に加わりました。

4月1日には2月に新たに加わった齊木成一さんと共に入所式を行いました。つばさは全員で32名の利用者数になりました。

入所式の今井さん、ちょっと緊張気味な様子ではありましたが式終了後には素敵な笑顔をみんなに見せていました。齊木さんは得意の紙ちぎりを披露し枯れ木に花を咲かせてくださいました。

同日併せて新職員の紹介も行いました。新人職員を含めて計4名がつばさ職員に加わります。

5月より(仮称)いずみホール新築工事も始まり、秋の完成を皆で楽しみに待つ事になります。

秋以降にはあゆみの家の改築工事が始まり、あゆみの家成人部が仮活動場所としていずみホール及びつばさに来ることになります。今年度は様々な面で変化の多い年になりそうです。

(担当 つばさ 梶沼 知徳)



最近の各事業所の様子③

「スマイル」卒室会

小田島

勇太さん

今井 翔太さん

「スマイル」

3月31日（金）に「スマイル」卒室会を行いました。

小田島さんが得意な Kis-My-Ft2 のダンスを披露！スタッフによるエイサーや、昨年に引き続き Smile-Ft2 のダンス、スライドショー、おやつパーティーなど、とてもにぎやかな会となりました。今井翔太さんは体調により欠席となってしまいましたが、卒室会の途中で今井さんのお父さんが駆けつけてくれ、感動のご挨拶をいただきました。



（担当 「スマイル」 小山 大志）

法人いずみの取組

第8回 社会福祉法人いずみ主催講演会のご報告

平成 29 年 2 月 4 日(土) 14：30～16：30 於 東村山市社会福祉協議会内地域福祉活動室

テーマ：「笑ってアンチエイジング」

講師：一般財団法人日本健康管理協会 新宿プラザ所長 日本笑い学会 講師 鎬木 淳一医師

参加者：法人関係者 36 名、外部関係機関及び地域の方 20 名

今回の講演会のテーマを考える時に、法人関係者だけではなく、日頃お世話になっている地域の方々にも興味を持っていただける内容にしたいと思いました。現代は老いも若きもいろいろな場面でストレスを感じることが多く、そんな時に笑顔に救われたというような体験をお持ちの方もいらっしゃると思います。そこで、いろいろな人に通じる笑いの持つ力についてお話していただけたらと、日本笑い学会に問い合わせたところ、鎬木先生をご紹介くださいました。

Dr である鎬木先生は、医学的な視点からいろいろなデータを丁寧にご紹介いただきながら、笑いが身体に及ぼす影響(効果)について分かりやすいお話してくださいました。

参加された方の中には、「お笑い」を期待して来られた方もいたようですが、大笑いはなくても、先生の穏やかな語り口に、和やかなほっとするような笑顔で講演会は締めくくられたように感じました。

Happy People live longer！笑いは長寿の秘訣だそうです。日々笑顔で、人にも自分にもいい効果を感じながら過ごしていきたいものですね。（担当ライフサポートつばさ 市川 恵美子）

いずみホールの建設が始まりました

平成 29 年 5 月 10 日（水）、いずみホール建設に伴い、施工、増田コーポレーション様の司会進行の下、地域の代表として敷地隣りのメゾン富士見の境野様、法人いずみの筆頭評議員の田口様、同評議員でつばさ利用者の鎌田様にご参加いただき略式ながらも厳粛にお清めの儀が執り行われました。小雨の中、田口様のお祝辞で「雨降って地固まる」とのお言葉を頂きました。

いずみホールは鉄骨造 2 階建て（1.2 階各 100 m²）の建物で、法人本部西隣に建築します。2 階が本部機能となり 1 階は活動スペースとなります。法人内の事業所のうち、特に生活介護事業所が定員満床という現状がありますが、いずみホールが完成すると、新しい方の受け入れが可能となります。9 月竣工予定の新しい建物の完成を利用者、ご家族の皆様、そしてご縁のある皆様と共に心待ちしたいと思います。

又土日曜日、祝日は施設活動は休日ですので地域に開放し、自治会や趣味の会、地域の各種サークルで使って頂く様に自主管理ベースで団体登録して頂く等用途も前向きに検討中です。

法人いずみ職員と致しましては、いずみホール建設に伴い、今後のサービス拡充、受け入れ拡大にむけ、又、更なる高みに向けて職員一同精進して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

（担当 松本恭子）



お清め式福岡理事長のあいさつ



田口評議員が建築予定地の四角をお清め

硝子戸の向こう

連載企画 第7回

理事長 福岡憲二

あゆみの家建物の譲渡

が決まりました。

末尾記載の「議案の質疑」は5月1日発行のひがしむらやま市議会報告（平成29年2月23日 あゆみの家建物の無償譲渡）議案の質疑の一部の写しです。議案は、賛成多数でめでたく可決されました。

又、ここ数年あゆみの家幼児部、成人部の利用児・者の皆様・御家族の皆様には、夏冬の空調や床暖房の不具合等で御迷惑をお掛けしてきましたが、右議会報告にもある様に、市の御配慮も頂ける事になりました。

今迄は、市からの委託事業として平成17年以来、あゆみの家の事業運営を引き受けて来ましたが、運営自身は2年前の平成27年4月社会福祉法人いずみの独自事業に移管して頂き、更に今年平成29年3月にはこの議会報告にある様に、あゆみの家建物を無償譲渡して頂きました。長年の私たちの望みが成就したわけです。

今後共、重度障害児者の福祉支援を継続していかねばならない私たちにとっては、なにものにも代え難い、有難いはなむけです。

地域福祉の更なる向上の為、又市の従来の御指導に対する御恩返しの為にも、何よりも大切にに使わせて頂きます。

平成29年5月8日記



あゆみの家

建物（あゆみの家）の無償譲渡	
あゆみの家（富士見町1丁目）では、「社会福祉法人いずみ」が生活介護事業と児童発達支援事業を実施しています。	
市は27年4月に同法人に事業を移管し、土地と建物を無償で貸与してきました。このたび、利用者のニーズに対応したさらなる事業が展開できるよう、同法人にあゆみの家の建物を無償で譲渡するものです。	
問 土地の権利関係はどうなるのか。	答 市が所有しているため、今後も無償で貸与する。
問 この建物の評価額を伺う。	答 平成5年に4億3,724万円で取得し、築24年になる。財務省令に基づき減価償却すると、残存価格は約2億2,000万円と推定される。
問 譲渡先の法人は、この建物を今後、どのように活用していくのか。	答 譲渡先は法人は、この建物を今後、どのような用途に活用していくのか、定員数を拡大し、障害特性に応じた施設にするため、建物の譲渡が完了した後に改修工事を実施する予定である。
問 改修工事は法人が自費で行うのか。	答 法人が負担するが、あゆみの家は築24年が経ち、冷暖房設備や給排水設備の劣化等故障も発生しているため、29年度に限って一部を補助する考えである。
問 無償で譲渡する際の基準を伺う。	答 明確な基準は決めていないが、建物を譲渡することで市民サービスの向上につながる場合、公有財産管理運用委員会に付議し、協議・組織決定した後、地方自治法の規定に基づき、議会で議決したいと考えている。
問 売却する考えはなかったのか。	答 あゆみの家は、都内でも数少ない重度の障害のある方が通所する施設である。今後も安定的に事業を拡充・拡大し、必要があり、無償で譲渡することが望ましいと考えた。

5月1日発行のひがしむらやま市議会だより （一部抜粋）

議案の質疑

～今後のトピックス～

- ・ あゆみの家・東村山生活実習所合同まつり 平成 29 年 5 月 27 日（土）開催
会場：東村山市南台公園
- ・ 合同秋まつり 平成 29 年 9 月 24 日（日）開催予定
会場：「スマイル」・グループホームそよ風・やすらぎ荘
- ・ つばさまつり 平成 29 年 10 月 22 日（日）開催 会場：ライフサポートつばさ

訃 報

当法人の前監事 熊谷 厚 様は予てより病氣療養中の処、本年 3 月 17 日夜、薬石効なく永眠されました。

熊谷様は当法人設立時の平成 17 年 3 月より評議員 2 年後から監事を引き受けて頂き、本年 3 月まで満 12 年間、監事監査は勿論の事、各事業所の行事へご夫妻揃って御出席頂くやら、ビンゴ大会の景品のディズニーランドの招待券を頂くやら、思い出が尽きません。法人の為に又地域福祉の為に尽力して頂きました。

ここに関係者の皆様と改めて熊谷さんのご冥福をお祈りしたいと思います。（編集者）



3 月 23 日御通夜の御祭壇
(シティホール小平)

社会福祉法人いずみへご寄付を頂きました。

熊谷 まゆみ 様（故熊谷厚様御夫人） 清水 早苗 様

以下、平成 28 年から今日まで、ご寄付を頂きました皆様。

熊谷 厚 様（4） 福岡 憲二 様（4）

千葉 光男 様（1） 北角 有希 様（1）

田渕 規子 様（3） 小林 カネ 様（1）

廣瀬 政輝 様（1）

皆様、有難う御座いました。

順不同（ ）は件数を表記

～ 編集後記 ～

新緑がまぶしい季節になりました。この春法人内の各施設には新しい仲間が増え、職員の異動等もあり事業所内に新しい風が吹き込みました。

これから予定されているいずみホール（仮称）新築工事やあゆみの家改築工事などが動き出しつつあります。一筋縄ではいかない事が待ち受けている感がありますが、それぞれの職員が協力し合い、課題等に対しては創意工夫など行いながら乗り切っていきたいと思っています。

ライフサポートつばさ 施設長 梶沼 知徳

- ・ ニュースレター記事内の写真についてはご本人、ご家族のご了承を頂いております。